

株式会社 日高振興公社

決算書類

第 28 期

自 令和 3 年 4 月 1 日  
至 令和 4 年 3 月 31 日

## 株式会社 日高振興公社 第28期 事業報告

### 1 事業の経過および成果

当事業年度における国内経済をみると、新型コロナウイルス感染症に伴う、緊急事態宣言を受け、兵庫県は4月25日から6月20日、8月20日から9月30日の99日間発出しました。時短営業や休業要請、不要不急の外出を控えるなどの自粛要請により、経済全体に深刻な影響を与えています。特に兵庫県内の倒産件数は2021年度313件で、コロナ禍に伴う支援策により、前年度比25.1%減少しましたが、小売業87件、飲食業83件と依然厳しい状況に変わりはありません。

また、神鍋高原の夏季観光客の入込状況は8月に悪天候と緊急事態宣言の実施により、約12万人(前年約15万7千人)前年比76%となりましたが、冬季は12月後半からシーズンを通して安定的な降雪に恵まれ、神鍋高原スキー場は約14万人(前年約10万8千人)前年比130%となり、賑わいを取り戻しました。ただし、経済支援クーポンは1,464万円(前年2,088万円)前年比70%となり、大変厳しい状況の中で1年を終えました。

このような状況の下、当社は「地域と共に創る個性ある道の駅」を目指し、神鍋高原のおみやげ開発などに取り組んで参りました。

従業員の職務能力向上を図るため、県内の道の駅訪問や意見交換、コンサルタントの指導、更なる地元企業・高校生との連携強化により、店舗展開(坪単価・客単価アップ)や「個性ある道の駅づくり」のための研修を行いました。

また、毎月開催している社員会議では、各部門ごとに経費実態・新規イベント計画・新商品開発・設備投資計画等、勉強会を適時実施しました。特に、本事業年度は労働時間の見直し、効率的な仕入れの実施、新型コロナウイルスの感染状況に応じた運営等についても全従業員で取り組みました。

#### ○来客数

道の駅「神鍋高原」	105,239人	(前年度比:105%	4,883人)
神鍋温泉ゆとろぎ	61,074人	(前年度比:113%	7,050人)

結果、当事業年度における業績は、

売上高	172,496千円	(前年度比:102%	3,871千円)
営業利益	△2,987千円	(前年度比:—%	4,082千円)
経常利益	2,302千円	(前年度比:64%	△1,290千円)
当期純利益	1,572千円	(前年度比:48%	△1,732千円)
		(前年度:3,304千円)	となりました。

## (1) 道の駅「神鍋高原」

### ① 売店部門

当事業年度は高校生の連携強化を図り、但馬農業高校から新たに野菜や苗、メロンの販売など、取り扱い商品を増やしました。さらに、山陰海岸ジオパークのエリア内にある鳥取湖陵高校と新規取引を開始し、50年以上生徒により作り続けられてきた福神漬けの販売を開始しました。また、兵庫県温泉地お土産購入券、ひょうごを旅しようキャンペーンや豊岡市プレミアム付き応援商品券やとよおか旅クーポン等、経済支援クーポンの利用が12,846千円となり、売店部門の売上全体の12%を占めました。

新たな取り組みとして、4月に魚介類販売業の許可を取得し、神鍋清流サーモンの鮮魚販売を開始しました。さらに、おとし取得した食肉販売業の許可を活かし、夏季はキャンプ向けの焼き肉用、冬季にはすき焼き用の美方但馬牛の販売を開始しました。

お正月に先駆け地元産のしめ縄を販売し、神社からの依頼があるなど評判も良く、12月には第1回しめ縄作り教室を開催し、日本の伝統文化に触れていただきました。

また、9月にはイベントホール2階に山陰海岸ジオパークの展示室、3階に神鍋高原展望台をオープンし、多くのお客様に利用して頂きました。

さらに、下記の商品を道の駅「神鍋高原」でしか購入できない商品（PB商品）と位置付け、他店舗との差別化を図りました。

○高校生商品	年間販売数： 6,367 個	売上金額： 1,907 千円
○よりどり3個セット	年間販売数： 1,110 個	売上金額： 1,110 千円
○キャベツチップ	年間販売数： 2,168 個	売上金額： 1,011 千円
○ほんまもん神鍋	年間販売数： 10,111 個	売上金額： 6,572 千円
○日高みそ関連商品	年間販売数： 1,986 個	売上金額： 931 千円

### ② 飲食部門

毎年7月・8月に開催する「全但バス神鍋線利用促進イベント」の「神鍋 BeerNight」は今年で10年目を迎えましたが、8月2日から8月19日の18日間、まん延防止等重点措置の発出により、1回しか開催できませんでした。客数45名、売上金額122千円、バス乗客22名、昨年より274名減少、売上金額775千円減少となり、前年比14%と減少しました。

平日の利用促進として、お食事処かなべの暖簾や但馬牛すじカレーの幟旗の作成、お客様アンケートの実施、神鍋清流サーモン丼の試験販売など、内容の改善に努めました。継続して、コロナ禍でのテイクアウト需要を見込み、お弁当や惣菜等販売を強化し、販売数量3,497個、売上金額1,132千円となりました。また、サービスの一環として、電子レンジを新設し、冬季でも温めて持ち帰れるようになりました。

土、日、祝日のランチビュッフェでは売店で販売している高校生・お土産商品を使用し、相乗効果を図りました。また、営業期間に関して、6ヶ月中止、8月から1月までの開催となりました。客数4,877名、売上金額5,136千円となり、昨年より客数922名減少、売上金額1,089千円減少となりました。

1年を通して緊急事態宣言99日間、まん延防止等重点措置113日間、合計212日

間あり、社会情勢を予測しながらの運営は大変厳しいものがあり、集客が見込めない中で、メニュー構成や仕入れの見直し等、より効率的な運営に努めました。

## (2) 神鍋温泉ゆとろぎ

昨年度から消費増税に伴う価格改定を段階的に行っており、4月から大人700円(前年650円)、小人450円(前年420円)に価格改定を行いました。また、ひょうごを旅しようキャンペーンやとよおか旅クーポン等、経済支援クーポンの利用が527千円となり、売上に貢献しました。

本年度、スキー場は降雪により賑わい、「スキーリフト券利用者割引」の利用者は8,901名(前年比129%)と増加しました。さらに全但バス神鍋線160名(前年比113%)、フォレストアドベンチャー奥神鍋372名(前年比63%)、パラグライダースクール31名(前年比69%)、と提携した割引サービスは効果がありました。

本年度の取り組みとして、①お客様アンケートを実施し、特に要望が多かった、休憩スペースのリクライニングチェア設置を実施し、多くのお客様から大好評でした。②「入浴料とフェイスタオル、バスタオル」が付いた入浴セットの販売が好調で、年間2,483セット、売上金額2,693千円(前年比179%)となり、2年目を迎え、定番商品として浸透し、安定した売上に繋がりました。

毎週水曜日に休館日を設け、お客様に安全かつ気持ち良く利用していただく様にレジオネラ菌の発生やコロナ感染を防ぐ為の清掃・消毒等の徹底をしました。また、営業に支障が出ない様に貯水槽や機械設備等の修繕工事を実施し、保守管理の改善に取り組みました。

## 2 事業実績

### 売上高の推移

単位：千円

区 分	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期	第 28 期
売店部門	125,684	116,322	107,315	113,343	107,367
飲食部門	41,477	36,015	32,510	17,835	21,622
温泉部門	41,654	38,382	37,654	33,477	39,483
市受託料	4,026	4,006	3,954	3,969	4,024
合 計	212,841	194,725	181,433	168,624	172,496

### 営業成績、財産状況の推移

単位：千円

区 分	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期	第 28 期
経常利益	5,306	4,109	△3,195	3,592	2,302
当期純利益	5,094	3,898	△2,600	3,304	1,572
総資産	39,231	37,761	34,296	70,317	72,338
純資産	21,299	25,196	22,597	25,901	27,473

## 3 会社の概要

### (1) 資本金

資本金	36,000,000 円
-----	--------------

### (2) 株式の状況

発行済株式総数	720 株
うち豊岡市保有分	400 株

### (3) 役員 の 状況

役職名	役員名
代表取締役	岡 森 且 哉
専務取締役	久 田 喜三郎
取 締 役	岡 藤 泰 明
取 締 役	小 谷 士 郎
取 締 役	村 上 勝 幸
取 締 役	細 谷 文 夫
監 査 役	谷 口 雄 彦
監 査 役	玉 置 孝 至

### (4) 社員（従業員）の状況

区分	人数	構成
社 員	5	男性 3 人、女性 2 人
パート	15	男性 2 人、女性 13 人
計	20	男性 5 人、女性 15 人

決 算 報 告 書

第 28 期

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月 31日

株式会社 日高振興公社

兵庫県豊岡市日高町栗栖野59-13

# 貸借対照表

(単位：円)

株式会社 日高振興公社

令和 4年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 68,003,463】	【流動負債】	【 14,866,058】
現金及び預金	64,575,936	買掛金	1,447,086
売掛金	432,049	受託未払金	2,907,669
商 品	423,974	未 払 金	7,077,960
原 材 料	510,867	預り商品券	17,500
貯 蔵 品	325,677	預 り 金	116,843
未 収 入 金	1,734,960	預 り 敷 金	100,000
【固定資産】	【 4,334,804】	法人税等充当金	732,500
(有形固定資産)	( 4,048,070)	未払消費税	2,466,500
建 物	2,767,869	【固定負債】	【 30,000,000】
建物附属設備	69,279	長期借入金	30,000,000
車両運搬具	2	負債の部計	44,866,058
工具器具備品	1,210,920	純資産の部	
(無形固定資産)	( 286,734)	【株主資本】	【 27,472,209】
ソフトウェア	286,734	[資本金]	[ 36,000,000]
		[利益剰余金]	[ Δ8,527,791]
		利益準備金	9,000,000
		(その他利益剰余金)	( Δ17,527,791)
		繰越利益剰余金	Δ17,527,791
		(うち当期純利益)	( 1,571,607)
		純資産の部計	27,472,209
資産の部計	72,338,267	負債・純資産の部計	72,338,267

# 損 益 計 算 書

(単位：円)

自 令和 3年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 4年 3月31日

科 目	金 額	金 額
【売 上 高】		
売 店 売 上	107,367,075	
市事業委託料等	4,023,652	
レストラン売上	21,621,855	
温 泉 売 上	39,482,969	172,495,551
【売 上 原 価】		
期首棚卸高	983,675	
仕 入 高	75,646,045	
材 料 費	8,670,861	
合 計	85,300,581	
期末棚卸高	934,841	84,365,740
売 上 総 利 益		88,129,811
【販売費及び一般管理費】		91,116,887
営 業 利 益		△2,987,076
【営業外収益】		
受 取 利 息	603	
雑 収 入	5,288,467	5,289,070
経 常 利 益		2,301,994
税引前当期純利益		2,301,994
法人税等充当額		730,387
当 期 純 利 益		1,571,607



# 販売費・一般管理費内訳書

(単位：円)

自 令和 3年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 4年 3月31日

科 目	金 額	
役 員 報 酬	4,313,800	
給 料 手 当	33,165,060	
福 利 厚 生 費	5,967,340	
雑 給	6,208,451	
シルバー委託費	1,819,620	
広 告 宣 伝 費	1,872,559	
運 賃	86,580	
燃 料 費	5,276,839	
衛 生 費	5,960,717	
水 道 光 熱 費	10,434,412	
会 議 費	116,479	
事 務 費	1,400,335	
消 耗 品 費	2,050,766	
地 代 家 賃	38,100	
支 払 保 険 料	447,120	
修 繕 費	1,004,990	
租 税 公 課	4,679,100	
減 価 償 却 費	1,031,331	
接 待 交 際 費	157,493	
旅 費 交 通 費	48,720	
通 信 費	390,024	
支 払 手 数 料	3,362,212	
賃 借 料	719,680	
諸 会 費	387,765	
購 読 費	58,364	
雑 費	119,030	
合 計		91,116,887

# 株主資本等変動計算書

(単位：円)

自 令和3年4月1日  
至 令和4年3月31日

株式会社 日高極興公社

	株主資本		剰余金		利益剰余金		株主資本計	評価・換算差額等合計	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本準備金	剰余金のうち 資本剰余金	剰余金のうち 利益剰余金	利益準備金	その他の利益剰余金				
当期末残高	36,000,000			△19,099,398	9,000,000	1,571,607	25,900,602			25,900,602
当期末変動額						1,571,607	1,571,607			1,571,607
当期純利益						1,571,607	1,571,607			1,571,607
当期変動額合計					9,000,000	△17,527,791	27,472,209			27,472,209
当期末残高	36,000,000			△17,527,791	9,000,000	1,571,607	27,472,209			27,472,209

	利益剰余金の内訳	
	利益準備金	繰越剰余金
当期末残高	9,000,000	△19,099,398
当期末変動額		1,571,607
当期純利益		1,571,607
当期変動額合計	9,000,000	△17,527,791
当期末残高	9,000,000	△17,527,791

# 個 別 注 記 表

自 令和 3年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 4年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 資産の評価基準及び評価方法

#### たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・商品・貯蔵品 …………… 最終仕入原価法による原価法

### 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …………… 平成10年4月1日以後に取得した建物及び平成28年4月1日以後に  
取得した建物附属設備・構築物は定額法、それ以外は定率法

無形固定資産 …………… 定額法

### 収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

### その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 …………… 税込方式で計上している。

## 2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額 …………… 37,867,174 円

## 3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の数 …………… 720 株

当事業年度末日における自己株式の数 …………… 0 株

## 4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額 …………… 38,155 円 84 銭

1株当たりの当期純利益 …………… 2,182 円 78 銭